

私の考えるスポ健の 博士力

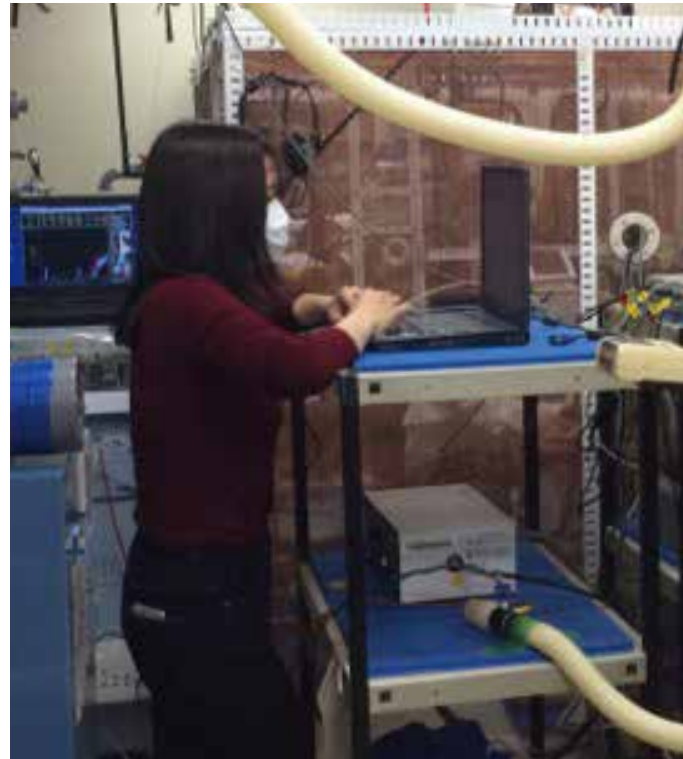
国際的な競争力と
挑戦を恐れない心



疲労回復の促進の観点から 新たなストラテジーを提案

日本学術振興会 特別研究員 PD

水野 沙洸



let's access

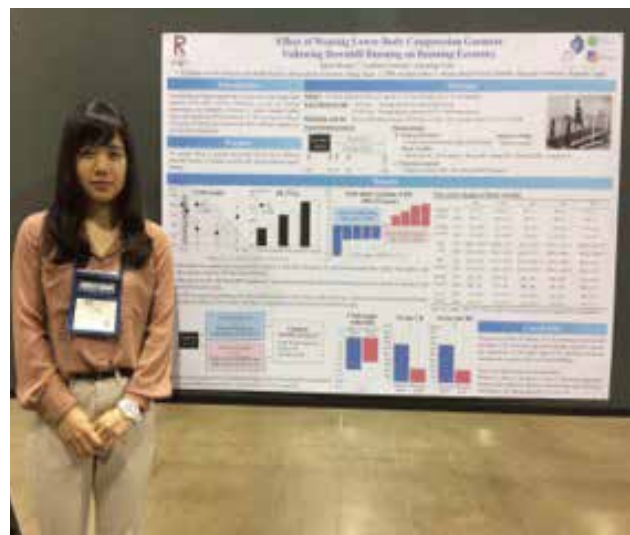


この QR コードを読み取ると
インタビュー動画を
視聴することができます



この QR コードを読み取ると
博士学位論文に
アクセスできます

学位授与の年月	2019 年 3 月
学位論文のタイトル	持久性運動中または運動後における コンプレッションウェア着用の効果
指導教員名	後藤 一成
研究領域	スポーツ科学領域
キーワード	運動誘発性筋損傷・疲労回復・血中 バイオマーカー・運動パフォーマンス



学位取得を
目指した
きっかけ

大 学時代、体育会ボート部に所属しインカレ優勝を目指し活動に励んでいた。その中で、大学の講義で後藤一成教授の「トレーニング科学」を受講したことをきっかけに「スポーツ科学」の分野に興味を持ち、競技パフォーマンス向上のために合理的・効率的なトレーニング手段を学びたいと思うようになった。その後、後藤一成教授のゼミに所属し、学部から実験に取り組む中で、後藤一成教授の教育に対する真摯な姿勢に感銘を受けたこと、「スポーツ科学」分野のさらなる発展に寄与したいと考えたことをきっかけに、博士学位の取得を目指した。

在学中

日 本学術振興会特別研究員 DC2 に採択され、研究活動に没頭することができた。また、在学時に実施された産学連携における民間企業との共同研究に 5 年間にわたって携わり、研究計画の立案から成果報告に至るまですべての工程に関わった。このことは、将来大学や研究機関で自らの研究室を運営する機会を得た際に大きく生かせるスキルとなった。また、博士課程 3 年生時には日本学術振興会・若手研究者海外挑戦プログラム（平成 30 年度）に採択され、University of Portsmouth（イギリス）に留学した。海外での研究活動に取り組めたことで、国際的な競争力と視野を培うことができた。

博士学位論文では、持久性運動中および運動後におけるコンプレッションウェア着用が、疲労軽減および疲労回復の促進に及ぼす効果を、筋機能・エネルギー代謝・血中バイオマーカー・キネマティクスなど複数の視座から検討し、コンプレッションウェア着用の有用性を明らかにした。これらの成果は、基礎研究と実践・実装（競技現場への応用、新たな製品の開発など）の双方に貢献するものになった。

現在

日 本学術振興会特別研究員 PD として、片山敬章教授の指導のもと、名古屋大学総合保健体育科学センターにて研究活動に取り組んでいる。柔軟な発想力と幅広い視野を有した研究者として成長するには、新しい学問や学際領域の開拓することが緊要であると考え、博士課程での研究の単なる継続ではなく、新たな研究テーマを対象に日々研究に邁進している。

将来像

ス ポーツ科学分野の観点から、アスリートの競技力向上や健康の維持・増進に関する課題の解決に取り組み、スポーツ科学分野の学術的・社会的価値の向上に貢献したい。また、論理的思考やコミュニケーション能力を十分に高め、研究力と応用力を兼ね備えた女性研究者として、アスリートの医科学サポートに携わる中心人物になりたい。また、これらの経験を後進に伝えられるよう、教育・研究機関で研究者育成にも尽力し、自ら設定する研究課題に挑戦する素晴らしさを伝えていきたい。

挑戦し、思考し、無限の可能性を生み出しましょう！